

シエフラーと Sonatus、ソフトウェア定義車両向け モーションコントロールに「エッジ AI」を導入

- モーションコントロールへのエッジ AI 導入により、中央集中型 E/E アーキテクチャーへの移行を加速
- Sonatus ソフトウェアをシエフラーの制御ユニットにシームレスに統合し、OEM の統合・検証作業を低減
- 本提携により、シエフラーはソフトウェア定義車両におけるシステム／ソフトウェアパートナーとしての地位をさらに強化

2026 年 6 月 10 日 | Herzogenaurach / Sunnyvale, California / Yokohama

シエフラーは、高度な知能化を実現するソフトウェア定義車両向け技術をリードする Sonatus とグローバルパートナーシップを締結し、ソフトウェア定義車両 (SDV) 向けモーションコントロールソリューションに「エッジ AI」を導入します。

両社は、シエフラーの制御ユニットと Sonatus の AI インフラストラクチャーソフトウェアを組み合わせることで、車両エッジに直接インテリジェンス (高度知能化処理) を実装し、開発の加速、システム複雑性の低減、そして車両ライフサイクル全体にわたる継続的な改善を実現します。

SDV には、高性能なハードウェアだけでは不十分であり、ハードウェア、ソフトウェア、データのシームレスな連携が求められています。今回、両社が共同で提供するの、「Sonatus Collector AI」と「Sonatus AI Director」をシエフラーの制御ユニットに統合したソリューションです。次世代車両アーキテクチャーに即応する基盤を構築し、市場投入までの時間を短縮します。

「SDV には、堅牢で拡張性の高いハードウェア基盤が必要です。」と、Schaeffler AG E-モビリティ事業部 CEO の Thomas Stierle は述べています。「当社の制御ユニットは、車両内で AI をベースにしたデータ主導型機能を実行し、次世代車両アーキテクチャーの実現を可能にします。」

ハードウェアからインテリジェントシステムへ

モーションテクノロジーカンパニーであるシエフラーは、パワートレイン、エナジー、シャシー、車体といった複数領域にまたがる制御ユニットと、包括的なシステ

ムインテグレーションの専門性を提供しています。これにより、SDVの中核となる集中型およびゾーン型アーキテクチャーを実現します。

今回のパートナーシップにおいて Sonatus は、これまでに 800 万台以上の車両に採用実績のある量産品質の SDV 向け AI 駆動型技術を提供します。同社の組み込み AI ソリューションにより、シェフラーのシステムはさらに拡張されます。

- Sonatus Collector AI: 大規模なデータロギングに依存せず、ピンポイントでリアルタイムなデータ収集を実行
- Sonatus AI Director: 車載上で AI モデルの展開およびライフサイクル全体の管理を実現

「ハードウェアの中央集約化はあくまで第一歩にすぎません。SDV を真に実現するには、AI を車両エッジで実行し、ハードウェアが継続的に学習・適応できるようにすることが求められます。シェフラーとの協働により、従来の静的な制御ユニットを、動的でインテリジェンス主導のシステムへと進化させていきます。」と、Sonatus CEO 兼共同創業者の Jeff Chou 氏は述べています。

OEM にとっての明確なメリット

両社が共同開発したソリューションを採用することで、自動車メーカーはステアリング、ブレーキ、エナジーマネジメントといった主要な車両機能を制御ユニット上で直接実行し、継続的に改善できるようになります。新機能の追加や最適化も、ハードウェアを変更することなく車両ライフサイクル全体を通じてアップデート可能です。

さらに、柔軟なデータ収集により課題解決の迅速化や車両性能に関する理解が一段と深まり、OEM は複雑化するシステムをよりの確に管理できるようになります。その結果、開発サイクルを大幅に短縮することができます。

今回のパートナーシップは、SDV 向けソフトウェアおよびシステムエンジニアリングが、シェフラーの戦略的重点分野であることを明確に示すものです。ハードウェア、組み込みソフトウェア、システムインテグレーションの専門知識を融合することで、シェフラーは複雑化するシステムに直面するお客さまを支援し、次世代車両アーキテクチャーの導入を強力に後押しします。

Schaeffler AG ビークル & バッテリーコントロール事業部 シニアバイスプレジデントの Rodrigo Peres は次のように述べています。「当社の中央制御ユニットには、Sonatus の製品をはじめとするソフトウェアインフラストラクチャーがあらかじめ組み込まれています。これにより、お客さまのシステム統合作業は大幅に簡素化され、ソフトウェアアーキテクチャーの中央集約化を加速させることができます。」



署名式にて(写真左から): Schaeffler AG ビークル&バッテリーコントロール事業部 シニアバイスプレジデント Rodrigo Peres、Sonatus アイルランドオペレーション担当ジェネラルマネージャー Marc Synnot 氏。

写真: シェフラー

Sonatus について

Sonatus は、拡張性とアップグレード性を備えた、高度な知能化を実現するソフトウェア定義車両向け技術を提供するリーディングテクノロジープロバイダーです。同社の AI ソリューションおよびソフトウェア定義技術は、OEM やサプライヤーのコスト削減、市場投入までの期間短縮、そして妥協のない品質の実現を支援します。2018 年に設立された Sonatus は非上場企業であり、自動車、半導体、ベンチャーキャピタルといった分野の主要投資家から出資を受けています。また、同社の技術は世界の主要自動車メーカーが製造する 800 万台以上の量産車に搭載されています。本社は米国カリフォルニア州サニーバール(シリコンバレー)にあり、地域本部をアイルランド・ダブリンに設置。さらに、インド・バンガロール、米国デトロイト、ドイツ・フランクフルト、ポーランド・クラクフ、フランス・パリ、インド・ブネー、韓国ソウル、中国上海、台湾台北、日本の東京に拠点を展開しています。詳細は同社ウェブサイト(www.sonatus.com)をご覧ください。

注)本プレスリリースは現地時間 2026 年 6 月 10 日付でドイツ・ヘルツォーゲンアウラッハおよび米国カリフォルニア州サニーバールにおいて英語で発行されたものの日本語訳です。原文の英文と日本語訳の間で解釈に相違が生じた場合には英文が優先します。

シェフラーグループ – We pioneer motion

シェフラーグループは、80 年以上にわたりモーションテクノロジーの分野で画期的な発明と開発を推進してきました。電動モビリティや CO₂削減効率の高い駆動システム、シャシーソリューション、そして再生可能エネルギーのための革新的なテクノロジー、製品、サービスにより、シェフラーグループは、モーションの効率性、インテリジェンス、持続可能性を高めるための、ライフサイクル全体にわたる信頼できるパートナーです。シェフラーは、モビリティエコシステムにおける包括的な製品とサービスの範囲を、ベアリングソリューションやあらゆる種類のリニアガイドシステムから修理および監視サービスに至るまで、8 つの製品ファミリーに分けて示しています。シェフラーは、約 11 万人の従業員と 55 か国に約 250 以上の拠点を有し、世界最大級の同族会社でありドイツで最も革新的な企業の一つです。